

景観計画区域内における景観形成基準のチェックリスト
(福井都心地区特定景観計画区域(養浩館庭園周辺ゾーン)用)

<行為の種類> 建築物の新築等

配慮すべき基本的基準	1 周囲の景観への影響について十分に検討し、デザイン(形態、色彩、素材をいう。)等に工夫をする。	
	2 快適な歩行者空間を創出するため、外構においても十分に工夫をする。	
	景観形成の方針	方針1 養浩館庭園の環境保全と庭園内からの良好な眺望景観の保全
		方針2 養浩館庭園周辺を楽しみながら歩ける散策空間の形成
方針3 まちの宝・誇りである養浩館庭園との調和を意識し、快適に住み続けられる質の高いまちなみの形成		
<基本的基準に基づいて、景観に配慮した点・デザイン等に工夫した点などを具体的・詳細に記述> ----- ----- ----- ----- -----		

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目別基準	項目	適合のチェック	景観形成基準
	敷地内における位置及び外構		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	・緑化にあたっては、四季を感じるができるものを用いることが望ましい。また、花や木の種類、フラワーポット等は統一することが望ましい。
		<input type="checkbox"/>	○道路に面して垣、柵又は塀を設ける場合は、デザインについて建築物及び周囲の景観と調和するよう努める。
		<input type="checkbox"/>	◎特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面して垣、柵又は塀を設ける場合は、必要以上に高くせず、歴史性を踏まえて和風の雰囲気と調和したものとする。
		<input type="checkbox"/>	・敷地に余裕がある場合は、できる限り前面道路からセットバックし、また、セットバックした空間にあっては、修景等のしつらえをすることが望ましい。
		<input type="checkbox"/>	・大規模な建築物の場合は、できる限り高木を設け、建築物による圧迫感を軽減することが望ましい。
高さ		<input type="checkbox"/>	○養浩館庭園内からの眺望や周囲の住環境及びまちなみを保全するため、建築物の高さは低く抑えるよう努める。
		<input type="checkbox"/>	○特に3階以上の部分又は養浩館庭園内から容易に望見できる部分については、形態意匠に配慮し、養浩館庭園内からの眺望への影響を軽減するよう努める。
形態		<input type="checkbox"/>	◎周囲の景観との調和に配慮した形態とする。
		<input type="checkbox"/>	◎特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面する建築物は、歴史性を踏まえ、和風の雰囲気が感じられる外観とするか、そのしつらえを取り入れる。
		<input type="checkbox"/>	・屋根及び屋上の形状については、できる限り周囲の建築物との連続性に配慮することが望ましい。

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目別基準	項目	適合のチェック	景観形成基準
	色 彩	<input type="checkbox"/>	◎外観に用いる色は、マンセル値による彩度4以下、無彩色は明度2以上とする。 特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面する建築物では、彩度は3以下、無彩色は明度2以上とする。 〔※ただし、次にかかる部分は除く〕 ・建築物の屋根（庇を含む。）における無釉の和瓦、銅板によるものの色彩 ・外壁等における着色していない石材、木材、土壁、レンガ、金属材、ガラス材等によって仕上げられる部分の色彩 ・見付面積の1/10未満の範囲内で外観のアクセント色として着色される部分の色彩
<input type="checkbox"/>		・特に外壁は、マンセル値による色相が YR・Y 系の色又は無彩色以外の色は用いないことが望ましい。	
<input type="checkbox"/>		○大規模な建築物は、周囲に与える圧迫感等を軽減するため、低明度の色彩は使用しないように努める。	
<input type="checkbox"/>		○使用する色数は、できる限り少なくし、全体としてのバランスを阻害しないよう努める。	
素材、 材料	<input type="checkbox"/>	◎時間経過を考慮し、汚れにくく、耐久性のある素材、材料を使用する。	
	<input type="checkbox"/>	○特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面する建築物は、歴史性を踏まえ、和風の雰囲気を感じられる素材・材料を用いるか、これを模した仕上げとするよう努める。	
ベランダ、 屋外階段、 附帯 設備等	<input type="checkbox"/>	○ベランダ、屋外階段、附帯設備等は、建築物との調和に配慮したデザインとなるよう努める。	
	<input type="checkbox"/>	○特に、養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面する建築物又は、養浩館庭園内から容易に望見できる建築物は、洗濯物や室外機等はできる限り目立たないよう努める。	
附属 建築物	<input type="checkbox"/>	○車庫、自転車置場、倉庫、設備機械室等の附属建築物は、主建築物と調和し一体感のあるものとするよう努める。	
	<input type="checkbox"/>	・道路等の公共空間から目立たないよう十分配慮した位置に設け、これが困難な場合は、植栽等により遮蔽措置を行うことが望ましい。	

景観計画区域内における景観形成基準のチェックリスト
 (福井都心地区特定景観計画区域(養浩館庭園周辺ゾーン)用)

<行為の種類> 工作物の新築等

配慮すべき基本的基準	1 周囲の景観への影響について十分に検討し、デザイン(形態、色彩、素材をいう。)等に工夫をする。	
	2 快適な歩行者空間を創出するため、外構においても十分に工夫をする。	
	景観形成の方針	方針1 養浩館庭園の環境保全と庭園内からの良好な眺望景観の保全
		方針2 養浩館庭園周辺を楽しみながら歩ける散策空間の形成
方針3 まちの宝・誇りである養浩館庭園との調和を意識し、快適に住み続けられる質の高いまちなみの形成		
<基本的基準に基づいて、景観に配慮した点・デザイン等に工夫した点などを具体的・詳細に記述>		

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目別基準	項目	適合のチェック	景観形成基準
	置及び外構	敷地内における位	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			・大規模な工作物は、養浩館庭園内から容易に望見できる場所にはできる限り設置しないことが望ましい。
高さ	高さ	<input type="checkbox"/>	○周囲の景観に悪影響を与えない高さとするよう努める。
		<input type="checkbox"/>	○特に養浩館庭園内から容易に望見できる工作物については、形態意匠に配慮し、養浩館庭園内からの眺望への影響を軽減するよう努める。
形態	形	<input type="checkbox"/>	◎公共空間に設置する歩行者系標識(サイン)は、「福井市公共サインマニュアル」を遵守する。
		<input type="checkbox"/>	・主建築物又は周囲の景観に調和した形態とすることが望ましい。
	態	<input type="checkbox"/>	○道路に面して垣、柵又は塀を設ける場合は、緑化や色彩の工夫、壁面形状に変化をつけるなどの修景措置を行うよう努める。
		<input type="checkbox"/>	○特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面して垣、柵又は塀を設ける場合は、歴史性を踏まえて和風の雰囲気を感じられる形態とするよう努める。

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目	適合の チェック	景観形成基準
項目別基準	色	<p>◎法令で定められたもの以外の色は、マンセル値による彩度 4 以下、無彩色は明度 2 以上とする。</p> <p>※ただし、次にかかる部分は除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着色していない石材、木材、土壁、レンガ、金属材、ガラス材等によって仕上げられる部分の色彩 ・面積を抑え外観のアクセント色として着色される部分の色彩
	彩	○特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面する工作物の色は、彩度 2 以下とし、歴史性を踏まえて和風の雰囲気を感じられるよう努める。
		・マンセル値による色相が R、YR、Y 以外の色は、彩度 2 以下とすることが望ましい。
		○養浩館庭園内から容易に望見できる工作物については、養浩館庭園内からの眺望景観を阻害しない色彩とするよう努める。
		○使用する色数は、できる限り少なくし、全体のバランスを阻害しないよう努める。
		・自動販売機及びモニュメント等については、上記によらず、周囲の景観に調和した色彩とすることが望ましい。
素材、 材料		◎時間経過を考慮し、汚れにくく、耐久性のある素材、材料を使用する。
		○特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面する工作物については、歴史性を踏まえて和風の雰囲気を感じられる素材・材料を用いるよう努める。
		○特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面する建築物は、歴史性を踏まえ、和風の雰囲気を感じられる素材・材料を用いるか、これを模した仕上げとするよう努める。

景観計画区域内における景観形成基準のチェックリスト

(福井都心地区特定景観計画区域(養浩館庭園周辺ゾーン)用)

<行為の種類> その他の行為

配慮すべき基本的基準	周囲の景観への影響について十分に検討し、その影響を必要最小限に留めるよう工夫する。	
	景観形成の方針	方針1 養浩館庭園の環境保全と庭園内からの良好な眺望景観の保全
		方針2 養浩館庭園周辺を楽しみながら歩ける散策空間の形成
		方針3 まちの宝・誇りである養浩館庭園との調和を意識し、快適に住み続けられる質の高いまちなみの形成
<基本的基準に基づいて、景観に配慮した点・デザイン等に工夫した点などを具体的・詳細に記述>		

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目別基準	項目	適合のチェック	景観形成基準
	土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他土地の形質の変更	<input type="checkbox"/>	○当該行為に係る区域の周囲には、植栽又は景観に配慮した塀を設けるなど、道路等の公共空間からの遮蔽措置に努める。
	木竹の伐採	<input type="checkbox"/>	○樹種、樹齢、樹形等の木竹の状況又は生態系を考慮し、価値の高いもの、地域におけるランドマークとして親しまれているものは伐採しないよう努める。
		<input type="checkbox"/>	・木竹の伐採後は、その地域の植生に適した樹種を植栽することが望ましい。
	屋外における土石、廃棄物及び再生資源のたい積	<input type="checkbox"/>	○道路等の公共空間から目立たないよう、植栽又は景観に配慮した塀等による遮蔽措置に努める。
		<input type="checkbox"/>	○たい積の高さはできる限り低くし、また、整然と積み上げ、敷地周辺に圧迫感や危険性を与えないよう努める。
		<input type="checkbox"/>	◎特に養浩館庭園及び郷土歴史博物館の周囲の通りに面する場所においては、遮蔽等の景観的措置を行う。
	特定照明	<input type="checkbox"/>	◎周辺の住環境や交通環境、生態系等に対して光害*とならないようにする。
		<input type="checkbox"/>	○光源の選定、照明方法、点灯時間、明るさ等について十分に検討し、投光の目的や地域の景観特性に合ったものとなるよう努める。
		<input type="checkbox"/>	○特に養浩館庭園内から容易に望見できる位置にある建築物においては、眺望景観に与える影響に十分に配慮するよう努める。

※ 光害：良好な照明環境の形成が、漏れ光によって阻害されている状況又はそれによる悪影響

(「光害対策ガイドライン」/環境省)